



平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月12日

上場会社名 株式会社 パスポート

コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画室長

(氏名) 久保田勝美

四半期報告書提出予定日 平成22年10月13日

TEL 03-3494-4497

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	6,792	△1.8	269	40.3	240	48.7	117	△23.8
22年2月期第2四半期	6,918	△7.7	192	—	161	—	154	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	23.28	—
22年2月期第2四半期	30.56	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %	1株当たり純資産	
	百万円		百万円			円 銭	
23年2月期第2四半期	6,313		1,357		21.5	268.81	
22年2月期	6,232		1,271		20.4	251.72	

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 1,357百万円 22年2月期 1,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
22年2月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 6.00	
23年2月期	—	0.00	—	—	—	
23年2月期 (予想)			—	—	5.00	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	13,400	△4.0	460	0.3	410	0.3	180	△29.8

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 5,270,000株 22年2月期 5,270,000株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 218,933株 22年2月期 218,003株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 5,051,598株 22年2月期2Q 5,051,997株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
【第2四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 繼続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年10月15日（金）・・・機関投資家・アナリスト向け平成23年2月期第2四半期決算説明会

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、米国経済の回復基調や新興国の経済成長に伴い、輸出産業を中心に景気回復の兆しが見られましたが、欧州の金融不安から円高がすすみ、景気の先行きについては再び不透明なものになっております。流通小売業界におきましては、雇用や所得の環境に改善はみられず、生活防衛意識の高まりによってデフレが長期化し、個人消費の回復は一段と厳しい状況となっております。

そうした中で、当社は中期計画『M3』の最終年度にあたり、品揃え再構築とスタッフによる店頭販売力の強化に全力で取り組んでまいりました。「カワイさ」そして「安さ」の両方を備えた商品が溢れる店舗で、「笑顔」で「挨拶」を励行するスタッフが、お客様をサポートする基本方針が徹底され、自動発注の仕組みと重点販売の施策で営業活動は一段と進化し、多くのお客様の支持を得ることができました。特に直営既存店は客数前年比103%で、売上前年比101.6%と第1四半期の好調を維持することができました。また、利益面では業績を反映して人件費が増加し、老朽化した店舗システムの入替え等もありましたが、不採算店の閉鎖で店舗家賃や減価償却費が低減し、他の販売管理費についても削減が進んだことで、営業利益・経常利益共に前第2四半期累計期間を上回ることができました。

当第2四半期累計期間の店舗展開では、直営店が「Passport」ブランドで1店舗開設し、5店舗閉鎖しました。フランチャイズ店は、「Passport」ブランドで1店舗を開設しました。また、直営店は2店舗の業態変更と3店舗の改装を実施しております。その結果、当第2四半期末の店舗数は直営店が147店舗、フランチャイズ店が26店舗になっております。

これらの結果、当第2四半期累計期間における当社の売上高は、店舗数の減少により6,792百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。また、営業利益は269百万円（前年同四半期比40.3%増）、経常利益は240百万円（前年同四半期比48.7%増）、四半期純利益は前期のような特別な要因による特別利益の計上はなく、117百万円（前年同四半期比23.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に比べて80百万円増加し、6,313百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて113百万円増加し、3,152百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が72百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて32百万円減少し、3,160百万円となりました。これは、主にPOSシステムの入替により有形固定資産が84百万円増加したものの、不採算店の退店等により敷金及び保証金が126百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ5百万円減少し、4,955百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて2百万円増加し、3,613百万円となりました。これは、主に年内償還予定の社債が46百万円、短期借入金が133百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が252百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて7百万円減少し、1,341百万円となりました。これは、主にリース債務が131百万円増加したものの、社債が償還により99百万円減少したこと、割賦の返済等により固定負債のその他が55百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べて86百万円増加し、1,357百万円となりました。これは、主に利益剰余金が87百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末より14百万円増加し、814百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、396百万円の収入（前年同期比3百万円の収入増加）となりました。これは、税引前四半期純利益222百万円を計上し、仕入債務252百万円の増加等による収入増によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、24百万円の支出（前年同期比120百万円の支出増加）となりました。これは、新規出店等により有形固定資産の取得による支出38百万円、敷金保証金等の差入による支出19百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、357百万円の支出（前年同期比191百万円の支出増加）となりました。これは、短期借入金の減少により133百万円の支出、社債の償還により245百万円の支出があつたこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績について、既存店の売上動向と粗利益率の改善状況、販売費及び一般管理費の削減状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、第2四半期の業績予想を修正しております。詳細は、別途9月27日に開示いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,816	800,002
受取手形及び売掛金	703,161	630,482
商品	1,371,737	1,433,296
未着商品	11,933	2,349
その他	250,939	172,811
流動資産合計	3,152,587	3,038,941
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	646,950	709,718
工具、器具及び備品（純額）	361,790	219,699
その他	20,352	15,554
有形固定資産合計	1,029,093	944,971
無形固定資産	39,075	43,399
投資その他の資産		
破産更生債権等	25,633	—
敷金及び保証金	1,920,789	2,047,538
その他	159,005	157,614
貸倒引当金	△12,816	—
投資その他の資産合計	2,092,611	2,205,153
固定資産合計	3,160,780	3,193,525
資産合計	6,313,368	6,232,466
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,914,977	1,662,759
1年内償還予定の社債	364,000	410,000
短期借入金	326,800	460,000
1年内返済予定の長期借入金	322,524	274,964
リース債務	33,000	—
未払法人税等	124,392	130,072
賞与引当金	65,300	45,700
役員賞与引当金	—	6,200
その他	462,594	621,427
流動負債合計	3,613,589	3,611,123
固定負債		
社債	446,000	545,000
長期借入金	418,590	414,532
リース債務	131,025	—
退職給付引当金	185,326	173,951
その他	161,046	216,167
固定負債合計	1,341,988	1,349,650
負債合計	4,955,577	4,960,774

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369, 266	369, 266
資本剰余金	292, 300	292, 300
利益剰余金	755, 193	667, 925
自己株式	△60, 538	△60, 368
株主資本合計	1, 356, 221	1, 269, 122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1, 569	2, 569
評価・換算差額等合計	1, 569	2, 569
純資産合計	1, 357, 790	1, 271, 692
負債純資産合計	6, 313, 368	6, 232, 466

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	6,918,568	6,792,468
売上原価	3,536,480	3,456,830
売上総利益	3,382,088	3,335,637
販売費及び一般管理費	3,189,843	3,065,901
営業利益	192,245	269,736
営業外収益		
受取利息	281	282
受取配当金	209	196
為替差益	1,092	—
破損商品等弁償金	1,455	2,043
雑収入	1,355	2,124
営業外収益合計	4,393	4,647
営業外費用		
支払利息	23,400	24,335
社債発行費	—	2,009
支払手数料	10,500	2,000
為替差損	—	2,359
雑損失	786	2,865
営業外費用合計	34,687	33,569
経常利益	161,951	240,813
特別利益		
受取保険金	71,626	—
役員退職慰労引当金戻入額	129,641	—
特別利益合計	201,267	—
特別損失		
固定資産除却損	2,554	2,125
店舗閉鎖損失	43,003	4,712
減損損失	—	7,526
商品評価損	87,071	—
社葬費用	8,095	—
リース解約損	—	4,185
特別損失合計	140,724	18,549
税引前四半期純利益	222,494	222,264
法人税、住民税及び事業税	14,800	113,030
法人税等調整額	53,290	△8,346
法人税等合計	68,090	104,683
四半期純利益	154,403	117,580

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
売上高	3,348,969	3,297,226
売上原価	1,753,480	1,729,342
売上総利益	1,595,489	1,567,884
販売費及び一般管理費	1,540,046	1,518,345
営業利益	55,442	49,538
営業外収益		
受取利息	54	55
受取配当金	206	193
為替差益	1,274	2,032
破損商品等弁償金	592	458
雑収入	892	701
営業外収益合計	3,021	3,440
営業外費用		
支払利息	11,787	11,506
雑損失	361	1,827
営業外費用合計	12,148	13,333
経常利益	46,315	39,646
特別損失		
固定資産除却損	2,477	2,111
店舗閉鎖損失	20,455	3,912
減損損失	—	7,526
社葬費用	8,095	—
リース解約損	—	4,185
特別損失合計	31,028	17,735
税引前四半期純利益	15,286	21,910
法人税、住民税及び事業税	7,300	△6,599
法人税等調整額	6,443	23,012
法人税等合計	13,743	16,412
四半期純利益	1,543	5,497

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	222,494	222,264
減価償却費	142,358	120,858
減損損失	—	7,526
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	12,816
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,280	19,600
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	△6,200
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,929	11,375
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△127,922	—
受取利息及び受取配当金	△490	△479
支払利息	23,400	24,335
社債発行費	—	2,009
店舗閉鎖損失	43,003	4,712
固定資産除却損	2,554	2,125
受取保険金	△71,626	—
売上債権の増減額（△は増加）	△56,624	△72,678
たな卸資産の増減額（△は増加）	217,311	51,975
仕入債務の増減額（△は減少）	66,740	252,218
その他	△23,012	△123,718
小計	449,395	528,740
利息及び配当金の受取額	490	479
利息の支払額	△26,396	△24,308
法人税等の支払額	△30,441	△108,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,047	396,790
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,075	△38,091
敷金及び保証金の差入による支出	△525	△19,014
敷金及び保証金の回収による収入	72,761	47,487
その他	70,850	△14,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	96,010	△24,280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,300	△133,200
長期借入れによる収入	550,000	200,000
社債の発行による収入	—	97,890
長期借入金の返済による支出	△78,200	△148,382
社債の償還による支出	△510,000	△245,000
リース債務の返済による支出	—	△14,243
割賦債務の返済による支出	△126,903	△84,702
自己株式の取得による支出	—	△170
配当金の支払額	△100	△29,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,504	△357,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	322,553	14,814
現金及び現金同等物の期首残高	387,873	800,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	710,427	814,816

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動ありません。